

教員コラム

『マスク越しでも、いないいないばあ。』

特任教授 酒井 律子

電車で前座席の赤ちゃんと視線が合った時のエピソードです。生後10か月頃の彼女は、ママに抱かれて周りのものに興味津々、後ろ座席の私にもじっと視線を注いできます。こちらが微笑みかけると、彼女は一瞬驚いた表情を見せるも短くニッと微笑み返し、すぐにママの胸に顔を埋めます。暫くすると、今度はママの陰に身を隠しつつ、そーっと様子を窺うかのように視線を送ってきます。再びこちらが微笑みかけ、相手が時に恥ずかしそうに視線を反らしつつも微笑み返しが始まると、さあここからは、いないいないばあ。の始まりです。

彼女は何度もママの陰に隠れては隙間から私を覗き、さて私に見つかりと身を弾ませて笑みを交わし、遂にはママも背後の私に気づくほど、それを楽しみ始めたのです。

ここに紹介したのはマスク越しでの

ーコマですが、他の赤ちゃんも同様、たとえマスクで顔半分が見えずとも、彼らは見える範囲での表情筋を頼りにコミュニケーションし始めます。そんな赤ちゃんたちの対人関係力に私はいつも脱帽です！



短大での新たな学びスタート！

准教授 木村 弘子

専任講師 中野 久美子

「グローバルスタディ」は学生が現代社会にふさわしい豊かな教養を身につけ、広い視野に立って考えられることを目的に令和四（2022）年度から開設された学ぶ楽しさを感じながら主体的に学問を探究・追求する新規科目です。グローバルスタディⅠ・Ⅱ・Ⅲとそれぞれ半期ずつ、一年半にわたって開講し、卒業研究につなげます。

「グローバルスタディ」では、私たち教員自身が専門にこだわらず、学生の知的好奇心を刺激するような領域・内容を日頃から探し、興味をもって楽しむことを大切にしています。その領域・内容について学生がテーマを発見し、研究したいと思うような魅力ある講義や演習を展開することが求められています。

多くの学生がⅡ・Ⅲへと継続して自主的に学び、卒業研究に取り組むことを期待しています。

